

(7) 2005年(平成17年)1月10日(月曜日)

慶 應 塾



(株) ガイアックスCEO・上田祐司氏

あなたもどうですか？ ベンチャーに迫る！

SFCでは、新規ビジネスのインキュベーションが盛んで、ベンチャーとの関係も深い。今回は、SFC内研究室発のビジネススクーボン打」を運営するメンバーと、ベンチャー企業として創業以来、ネットコミュニティ業界をリードしてきた、株式会社ガ

イアックスに取材を行った。「クーボン打」は、印刷一
路研究室の塾生チームが立ち上げたプロジェクト。携帯サ
イト上で、飲食店のクーボン
を無料で獲得できるシステム
で、ユーザが行なう早打ちタ
イピングの結果によってクー
ボンの割引率が変わる。昨
年四月にサービスを開始し、
十一月には、上月教育財団主
催の「学生ベンチャー支援事
業」優秀賞に選ばれた。
メンバーは、取材に対し二
〇〇二年に組んだチームで、
色々努力してきた結果が出
て嬉しいです。「一番苦労し
たのは、加盟店営業です。情熱
的になりすぎて、ビジネス
の数字に頼りすぎていけな
い。でも今は、すっかり店長
さんとも仲良しで、おまけし
て頂いたり(笑)。「クーボン
打」は現在、メンバーで立
ち上げた株式会社Jukeb
oxという会社で運営してお
り、今後は、「都内の大学付近
を中心に、有名サイトになっ

て多くの学生に利用してもら
いたいです」とした。
一方の株式会社ガイアック
スは、九九年に創業。コミュ
ニティサービス業を中心に、
ITビジネスのコンサルティ
ングなどを手がける。ちなみ
に、副社長はSFC出身で、
インターン生も多く慶應から
迎える。
代表取締役の上田祐司氏
は、「将来、独立し起業すると
考えた場合、世の中の資源を、
理論だけでなく、リーダー
シップでマネジメントする能
力が必要です。ガイアックス
では、社員二・三人でチーム
を組み、自己責任で新規事業
の企画開発、スタッフの雇用
も含め軌道に載せるまでをや
ってまいります。上の命令で
はなく、『自分の仕事』を二か
ら始めることによって、達成
意欲を高くキープし、一、二
年で独立できるほど成長でき
る。一人ひとりが個人事業主
に参画するプロとして社会
に参画するという事ですね。
自分で全て決めるのだから、
文句を言う相手がない。一
二〇%の力で努力した結果、
頑張った分だけ喜びがタイレ
クトに戻ってきます。
基本的に、上司は後輩に対
してサポートはしても、指示
をすることはありません。(共に
インタビュアーに応じて下さ
った社員の木村智弘氏に向か
って)彼なんて、全然入社一年
目には見えないでしょう、僕
より話す位だよ(笑)。そも

内定勝ち取れ！ 就活冊子編集長に聞く

この時期、「就活」のため忙
しい日々を送る学生が自立
始めてきている。自分がどの
よ様な職業に就きたいかを研

究することから始め、就職活
動をする彼らは、企業の内定
が決まるまでの道のりをどの
よ様に乗り越えていくのだろ
うか。
先日、慶應生協学生委員会
によって発行された就職活動
体験談冊子「七十三の就職体
験談 声」には、四年生の内
定者による就職活動に対する
メッセージがたくさん込めら
れている。そこで、編集長を
務めた横川奈央子さん(総合
四年)にお話を伺った。
まず、この冊子を発行する
経緯を聞いたところ、二年前
から就活に関するイベントは
あったけど、三田校舎だけで
行われていたのでいまいち印
象が薄かったのです。そこで、
自分たちの苦労した経験をよ
り多くの人に伝えていくため

そも、上司と部下という概念
はほとんどありませんね」と
沢山の人と会い、話をする経
験は良いものですよ」とコメ
ンツするが、という視点で働
くとした。(伊尾木文佳)



「クーボン打！」メンバーのみなさん